

さいたま市立大宮八幡中学校

〔学校教育目標〕心豊かでたくましい、

広い世界に生きる人間の育成

学校だより **きゃら**
「大宮八幡中学校の樹」



第10号

令和8年2月2日 発行

さいたま市見沼区大字南中丸357

TEL 048-687-8800

FAX 048-687-9301

行事の力

校長 下館 文雄

本年度も残すところ2か月となりました。「一月往ぬる二月逃げる三月去る」の慣用句から、一月は行く、二月は逃げる、三月は去ると言われるように3学期は大変早く感じる学期です。

1年生は韓国赤十字の生徒との交流や未来くるワーク体験、地域で認知症の方やその家族に対して手助けをする認知症サ

ポーター養成講座を実施しました。養成講座当日は、学校運営協議会の委員や地域の自治会、民生委員、五反田会館の利用者にも参加していただき、高齢者の実際の生の声を聴きながら認知症に対する正しい知識と声掛けの仕方等を学びました。

2年生は「^{メガしんかさいらい}超進化再来～自律あるところに最高の館岩あり～」のスローガンを掲げ、2学期に実施した横浜校外学習の経験を生かして宿泊学習に取り組みました。当日は今シーズン最長となる強い寒波の影響もあり多くの活動は雪が降りしきる中で行いましたがスキー実習、雪国体験、レク等、実行委員の生徒を中心に企画・運営し、スローガン通り自律を意識した宿泊学習となりました。そして1、2年生は行事を通して一回り成長する姿が見られました。

3年生は受験の真最中であり、1月22日から県内の私立高校の受験がスタートしました。公立高校を受検する生徒は、2月26日に学力検査を控えており、インフルエンザ等の感染症の流行も心配であり、気を抜けない日々が続いております。一人ひとりが受験する学校は違いますが、受験（進路）に向かって努力することは団体戦と言えます。時間は限られていますが、自分の進路実現に向けて一致団結して取り組んでください。



【正門付近に咲く梅】